

災害を最小限に食い止める第一歩

防災訓練を実施しました



皆さんの真剣な姿勢に、消防署の隊員による指導も熱が入ります。



AEDの使い方を覚えておけば安心です。



レスキューのデモンストレーション。

3月22日、大谷小学校において防災訓練が行われました。この訓練は、村内の安中小・大谷小・木原小の小学校区を基準に実施しているもので、第3回目の今年度は大谷小学校区の住民を対象に行われました。

当日は暖かい日差しの中、64名の地区住民の皆さんが会場に参集され、訓練を体験・学習しました。

訓練は、体育館で心肺蘇生・AEDの操作・応急担架作成等を学んだ後、グラウンドで消火器の操作や煙で視界が遮られる状況を体験しました。また、レスキュー隊員が校舎の屋上からロープで降下する訓練を実践しながらの緊張感の中で実演し、迅速かつ確実な動きに来場者から拍手が湧いていました。

本部協のテントには3日分の備蓄食料セットや災害に強い情報連携システムが展示されたほか、給水タンク車からの給水も行われ、備蓄用飲料水(500mlペットボトル)・非常食用の炊き込み五目御飯・豚汁が参加者に振るまわれました。

生命および財産を災害から守る防災対策は、おろそかにできない重要な施策の一つです。有事の際には、地域や身近な人々がお互いに協力しながら防災活動に取り組むことが、被害の軽減につながります。

この訓練を受けた皆さんが手本となって、対応の仕方が周囲の人々に伝わっていくことにより、災害時の対応力が向上することが期待されます。

☐問合せ 役場総務課 ☎885-0340(内)204



屋上の救護者をはしご車で救助。



煙で何も見えないと避難は大変です。



備蓄用の飲料水や食糧が配布されました。